

## 令和 7 年度提案型事業評価に代わる新たな事業評価検討報告書

1 廃止等に向け取り組むもの 2 件  
2 引き続き検討するもの 7 件  
3 実施済み又は実施しないもの 5 件  
計 14 件

## 1 廃止等に向け取り組むもの 2 件

No.	事務事業名	事務事業の内容	提案する理由・予想される課題	検討・対応課	評価の理由等	タスクチームでの検討
1	市民の先生	市広報誌やＨＰで市民の講師を募集し、講師決定後は市民から受講者を募集して上半期と下半期で講座を開く事業であり、担当課がその取り次ぎ役をしている。材料費等は直接講師と受講生でやり取りし、公共施設を講座会場とする場合は減免申請を担当課で行っている。	<p>【提案する理由】</p> 行政が仲介せずとも、民間でも様々な講座や教室が存在しており、何より担当課が所管する公民館でも講座・教室が各地区で開催されている。また、開催講座も固定化されている上、講座によっては受講生自体も固定化していて一部の方だけの既得権益化のおそれもあるので廃止する。 <p>【予想される課題】</p> 長年開催されてきたので、既存の講師・受講者からの反対意見は出るかもしれない。しかし、長年やってきているだけに講師・受講者間の関係性や連絡先も確立しており、行政が介在しなくても講座・教室は開催可能と思われる。	生涯学習・スポーツ課	本事業について民間事業との比較やまなび交流館で実施している事業との整合性等を調査のうえ、事業の廃止や統合について検討のこと。	
2	副市長車、議長車の管理	砺波市役所では一般職員が利用する公用車のほかに、市長車や副市長車、議長車等の専用車がある。	<p>【提案する理由】</p> 市長車の廃止に踏み切る自治体のニュースを散見するが、市長車以上に他の専用車の稼働率は著しく低いように思われることから、副市長車は廃止しても問題ないのではないかと。市長車を『特別職用車両』とし、空いた時には特別職で共用し、議長車に関しては運転手を業務委託しているので車両もハイヤー方式にしても良いのではないかと。 <p>【予想される課題】</p> 特になし。	総務課 議会事務局	副市長車は専用車両とせず、共用車両として使用することとし、その使用については1人利用は不可等の要件設定を検討のこと。 議長車は議長の送迎のみならず、他の議員も使用する車両として使用するよう対応済みである。	

# 令和 7 年度提案型事業評価に代わる新たな事業評価検討報告書

1 廃止等に向け取り組むもの 2 件  
 2 引き続き検討するもの 7 件  
 3 実施済み又は実施しないもの 5 件  
 計 14 件

## 2 引き続き検討するもの 7 件

No.	事務事業名	事務事業の内容	提案する理由・予想される課題	検討・対応課	評価の理由等	タスクチームでの検討
1	児童クラブ連合会	砺波市内の一部地区しか加入していない児童クラブ連合会の事務局をこども課で行っている。 事務局では書き初め大会、親子ビーチボール大会、パタンク大会などの運営を行い、通帳管理も行っている。 (R7補助金172,500円)	<p>【提案する理由】 児童クラブには一部地区しか加入しておらず、連合会の事務局を運営するのは受益者が限られるのではないか。加入した経験からは、地区の児童会もあるのに児童クラブも入る必要があるのか疑問だった。役員を出すのが困難なクラブもあり、脱退するケースもある。</p> <p>【予想される課題】 現在加入しているクラブ員や役員への説明の難航が予想される。</p>	こども課	児童クラブ連合会の加入状況等から組織のあり方について整理・検討のこと。	
2	高齢者学級	地区公民館への委託事業で、各地区の高齢者を対象に事業を行う事として3万円/地区を支出している。(年度末に実績報告書をもとに精算)	<p>【提案する理由】 かつては21地区全てへの委託事業だったが、老人クラブの衰退にも現れているように、高齢者に限って事業を行う事が難しいこともあり、14地区への委託に減少している。地区間の公平性もとれていないので廃止か、予算を21地区に平準化した上で「公民館運営委託料」へ上乗せする。</p> <p>【予想される課題】 ないと思われる。事業が廃止されても公民館は独自で事業を開催できる。仮に運営委託料の上乗せが可能であれば、財源も補償される上、開催していない7地区は単純に委託料が増加するので賛成されると思われる。</p>	生涯学習・スポーツ課	<p>本事業のニーズや他事業との事業内容の重複等を調査のうえ、事業の廃止や類似事業への統合等について検討のこと。</p> <p>なお、事業の実施に関係なく委託料に上乗せすることは理解を得られないと考える。 また、生涯学習・スポーツ課における事務分担や人員の見直しについて検討されたい。</p>	
3	砺波市公民館指導員	「砺波市公民館指導員の設置に関する規則」に基づき、会計年度任用職員として1人配置され、「市民の先生」、「市民大学「学遊塾」」、「高齢者学級」の事務を担当している。	<p>【提案する理由】 本来は名称のとおり公民館事業を担当すべき役職だが、実態は左記3事業の担当がメインである。廃止又は縮小された場合人員削減も可能なため廃止する。 類似役職に社会教育主事があり、こちらは社会教育法に基づく設置義務があるが公民館指導員は義務はない。</p> <p>【予想される課題】 規則廃止。もしくは、規則では指導員の定数を「4人以内」としているのでも0人でも問題ないか。</p>	生涯学習・スポーツ課	<p>担当する事業が継続している以上、当該指導員を廃止し人員削減することはできないことから、継続して配置することとする。</p> <p>なお、今後担当事業が廃止・縮小され、正規職員の負担にならないようであれば今後廃止を検討のこと。</p>	

# 令和 7 年度提案型事業評価に代わる新たな事業評価検討報告書

## 2 引き続き検討するもの 7 件

1 廃止等に向け取り組むもの 2 件  
 2 引き続き検討するもの 7 件  
 3 実施済み又は実施しないもの 5 件  
 計 14 件

No.	事務事業名	事務事業の内容	提案する理由・予想される課題	検討・対応課	評価の理由等	タスクチームでの検討
4	砺波市社会教育指導員	「砺波市社会教育指導員の設置に関する規則」に基づき、会計年度任用職員として 1 人配置され、年に一度『社会教育の現状』という冊子の発行と教育委員会後援名義という 2 事務のみを担当している。	<p>【提案する理由】</p> 社会教育法に基づく設置義務がある「社会教育主事」の補完役職のような存在であり廃止はできないと思われる。担当業務を見直し、現状の会計年度任用職員ではなく正職員を当て込めば人員削減も可能になる。	生涯学習・スポーツ課	一定の担当業務がある以上、当該指導員を廃止し人員削減することはできないことから、継続して配置することとする。 なお、今後担当事業が廃止・縮小され、正規職員の負担にならないようであれば今後廃止を検討のこと。	
5	砺波市少年少女発明クラブ	商工系の職員が事務局を務め、指導員 2 人の募集・連絡調整に始まって毎年度、市内の小学生から受講生を募って教室を開催。市の補助金申請をして通帳管理し、そこから指導員の謝礼の支払いや材料費の支出等を行う。	<p>【提案する理由】</p> 県内でも行政が発明クラブの事務担当しているのはごく僅かであり、かつ、長年精力的に指導員を引き受けていた方も引退を仄めかしておられ、後任探しも難航が予測される。合わせて民間で子供向けのプログラミング教室も実施されていることから廃止又は子供の教育活動であるため教育委員会への所管替え。	商工観光課	この事業は本市の児童の創造性や問題解決能力を養い、自己の成長を促す活動であり、県内でも本市でのみ実施されている事業である。 ただし、事務局等も含め運営について、事業の目的を考慮のうえ、外部団体や教育委員会等への移管について、検討・調整のこと。	
6	暮らしの便利帳	年度末に全庁的に照会をかけ、市の業務を 1 冊の冊子にまとめて作成し、転入世帯等に配布している。	<p>【提案する理由】</p> ペーパーレス化が推奨され、かつ、もらう側も冊子で探すよりも市ＨＰで検索した方が結果が早く分かるようなデジタル化社会で、冊子の存在意義がないように思われるので廃止する。各課の市ＨＰを充実させる意識づけにもなると思われる。	企画政策課	市民のニーズを調査のうえ、ホームページ等を活用し電子的にまとまった形で情報提供できるかなど冊子の廃止について検討のこと。 なお、ホームページ等の情報が更新されないままとならないような方法についても併せて検討のこと。	○
	その他 1 件（市役所内部の調整事項）					